鬼神を泣かしむる

尚野部隊の 奮戦

五度高くまでは、 を関されたのだとした、自分 を関されたのだが変するで、 を関されたのだが変すででであた。 を関うだい、 傷されたのだが変すででであた。 を関いて、 をした、 を関いて、 をした、 を関いて、 をした、 を関いて、 をした、 を対して、 をがし、 をが、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をが、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし、

殊勳の渡邊部隊

四見警部の齎

(-)

支那の遷延策に

相强硬決意を固む

要求 後の差こそれ 後の差こそれ

をあた

要を認め今後の代

【東京國通】電氣協會では二

反對を表明

電氣協會

北樺太石油問題

折衝に成功

左近司社長滿洲里通過

遠に未解決状態のまり

を西に向ひ通行中突如一名が私服のまゝ間北四十五分頃日本陸戦隊

# 

犯人は便衣の保安隊ごみらる 日夜上海で

の二名、便表の保安縣と目せっの二名、便表の保安縣と目せったが暴行者の暴行を職 ないまったが暴行者の暴行を職 ないまったが暴行者の暴行を職 ないまったが暴行者の暴行を職 ないまったが暴行者の暴行を職 ないまい しきもの一名、下土らしきもの 寺崎總領事代理

嚴重抗議す を解放した せんとした。こ を逮捕し法に照して嚴重處 を逮捕し法に照して嚴重處 制するこ右の趣きを近藤陸 動たし 電力國營問題に

会安局の巡補が來合せて二名 協議をとげたものであるって保安歐衛舎に 進するとの强硬決意を固め、 造するとの强硬決意を固め、 進するとの强硬決意を固め、

(東京國通) 有田外相の最後

須磨總領事

天津軍參謀 部と會見

東京國通)天津軍参謀、池 一、東京國通)天津軍参謀、池 一、東京國通)大津軍参謀、池

途につ た須磨南

とのあひだに

東亜局長、上村同第一課長等曜にも拘らず堀内次官、桑島 陸海軍兩當局

關係首脳部の参集を求

關

(東京観通) 陸軍省では二十二日午前滿州事變職疫者に関 する第十八回論功行賞を發表 したが、これは昭和十年十月 州 事變 八回論功 0

吉川商

命

二九一三

板林田

(鐵工所員) 同

乳

二十二十六日

後援

青月滿

井刊鐵

表雜京

美新局

術京社

具 具 店 務

畵伯

時賜金公債 行賞發表

利公債をもつて事變一時賜金の て交付する規定では鴻洲 半利に

少佐中村忠三氏以下七十名

◆柴垣久米夫氏(綿布商)同
◆雑原氏(成子氏(綿布商)同
◆独原勉氏(滿洲國官吏)同
◆松島親造氏(八八四世) 同
◆不井條志氏(機械商)同
◆不井條志氏(機械商)同
◆二宅能雄氏(鴻洲國大尉)同
◆糸永剛蔽氏(鴻洲國大尉)同
「高陽ホテル ▲ 伊藤源太郎氏(丸紅商店員) ▲ 間庭秀信氏(陸軍大尉)同

10る方針である、 

?何をしてゐらつしやるんで

『それは何も仰有らないので

只今早

度あひたいつで仰有いまし、そして萬里子さまにぜひ

つてしまひました。こんな私はたうさうこんな身にな

期

お會ひして色々のここを

んなこごをいってゐるのねえ

■福岡床一郎氏(建築技師)

後の交渉の運

お話したいつて

お願い

何んの事やらお分りになり

あなたには

ね、私は今ほ

かして含ひたい

そして私の胸の

胸の苦しみを打

泰市 お話したら、きつさお驚きにった、萬里子さんにお會してった。萬里子さんにお會して 『さうですか、私も會ひたいたいこだもあるんですつて』

一人より好になくなりまし

奉東市 東京 東京 東京 本東京 本本へ へへ へへ

五大電力首腦協議

市安東大連へへへへ

奉天い

同野市へ

の日

て居れず |を企劃、赤の手をかりるに とはいえ保安隊員とは獣つ上海で又も邦人襲はる、私

至つては……

金融したが、 響察部隊の四六 響察部隊の四六 のため

際し 歴程のため都下○○殿を 電山口部隊長は廿一日の波邊 野祭部隊の四六五高地激戦に 大渓湖観通1 木渓湖駐屯島

機性としては大きかつた、が

間は二國都唯

福子が人目にかっらぬやう にを接触へはいららさするの を追つて、萬里子もついては いった。

たて、「他有ってねらつしやいました。 「他有ってねらつしやいました。」 なたがおなつか ます、女はやはり女でな

o lt

さ、総子は、 変単子はま 気にわかつて來た。 彼女は、玉汝が今ごういふさ 『まあ、そんなここを仰有つ 『私、ごうかしてお會ひ川來 はまたい なか今ごういふこ あたりを見避 つた。 ちお読してい、かわかりま のお読してい、がわかりま のお読してい、がわかりま いて、能しい事情はここへいて、東京を去りましたにつて、東京を去りましたにつ

三、抽籤期日二、券面金總額

國幣五萬圓 一年(十月二十五日但期日 一年(十月二十五日但期日 一年(十月二十五日但期日 一年(十月二十五日但期日) 一年(十月二十五日世期日)

彩票發賣締

切

迫る

回

पर्ज

(大)搖

さ、経子は、あたりを見廻さ、経子は、あたりを見廻さ、経子は、あたりを見廻さ、ないちして下 は認めきれません、それにはこれです。 恐ろしくて書けないのです。ですからそれはおってきないればおってがあるればおってすがらそればおってすがらそればおってす。 その時こそ、あなたは私の家 し上げて、私の我體をゆるのなだへのお願ひだけを申 して頂きたいされ 出に深い同情をして

五四

當抽

籤籤

箇場

康德三年十月二十三日

てをりますの

れあ

本邦タップダンス界の領 本邦タップダンス界の領 本邦タップダンス界の領 を持時先生職特の最新式教養法に依 を持時先生職特の最新式教養法に依 を持ちなして居りま 十一月十日 の名コン 御希望の方は ピ

吉屋外 屋外 外 今 明晩お 待ち兼の

ツプダンス講習合 新式教養無に依り短期間で 大名 界の第一人者 會

秋の珍劇迷人會の夕べ 今晩からお待兼ねのダンサ 珍ラヂオ放送 1 の餘興 水上弘子 水上弘子

酒

百七十九 あ 上演上院) 押しになりました、お讀みにてくれろつで、幾度も念をお 3 四 悲 O 之 u 平月

『私を見るさ、私建つたでせられえ。『私を見るさ、私建つたでせらりましたわ……』 いつて……』 \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

吉

研究家

玉汝の行衛(二)

切ってから被いてみた。 関出子は家にかへるさ、経 がったりで自分の部屋をしめ がったがのが屋をしめ 久

视町二丁目 於 太 堂

当ホー 今晩から九日間(三十一日まで) ル の絶体編他の追從をゆるさず

ルフォ 1

ペシャ

何にが出るかおたのしみダンサー諸饟十八番の新趣考 ス 都

煤煙禍の再認識

それで實際に確をどんな風に

八、ペーチカ等でダンバーを 完全燃燒の一酸化炭素を室 内に吹出して窒息死を起す 事がある。

上北

は

新

京视町

二丁目

主

青井表具店美術

話園園(3)

六三一四六六四

防止具現の必要

あります、從て石炭の化學的、地域の石として一不思議として

全なものでは無いのでありま

\*\*\* ・ 1とするがよいと申して居 ・ 1とするがないと申して居 ・ 1とするがないと申して居 ・ 2をもり ・ 2をもり ・ 3をもり ・ 4をもり ・ 4をもり ・ 5をもり ・ 6をもり ・ 7をもり ・ 7をもり

(至つたのは歴史上近代の事 熟の競生に石炭が利用さる、

はないない。 はないない。 は年になって明かになった位 で、雄式は纏の如きも凡て外 で、雄式は纏の如きも凡て外

次出りから入る様にせねば 五、空氣は常に火格子の下部 加へねばならね。 加へねばならね。

四、煙の色は無色が薄い最色が低く燃えてゐない證據である、悪煙の出るは石炭のある。

へだけ火力が强く燃えてゐ える標にせねばならぬ、所 える標にせねばならぬ、所

展覽會あり

焚く場合はなるべく永く

(=)



便も優和される譯であるがこ山住宅方面の人々なよほど不

一月七日、

各官公署滑水大

實施に闘する件

婦人專門新都職業紹介所新京家八七街一條榜際 電話三人人中の北番

產婆常

富士町四ノ二八呼出(3)ー三〇七九

雇主及求職者は至念申込れたし

事務所向(二階住宅附)

版歴書持多本人來談 梅ヶ枝町三ノ十四

森殿(3)四七四三

募集

納會學童滑氷大會

ス會社住宅街へ新路線

特別市の

隣保委員會

た風な近代的な名称

# めすは大々的に防火宣傳 模擬消防も實施

か豫防に萬全を期せ

全市に亘つて、華々しく

東常高等小學校では二十三 東常高等小學校では二十三 東常高等小學校では二十三 皇后陛下の 御影奉戴式學行

先生方の對抗競技

れこの通り

揮し初多の寒空の下に建國體 を掲揚し大いに日本精神を設

ーボール、プレーグランドボ 揮によつて全職員出場しバレ 操をなし終つて各學校長の指

して一般大衆に空心を植へつ ト飛降術を数へ素人航空家を に於ける空中防備の一助たらの操縦方を青年有志者に数箋 ては飛行機操縦術及バラシウ に査する一方、一旦有事の際スポーツとしてのグライダー け更に進んでは篤志家に對し 養成して満洲航空事業の發達

を各方面すべての石 として実際に當て篏め にないならば、

は焚く石炭の割合に無いない。

を閉じて通風を加減する方で 大りが、 火物が温過ぎるといふの 七、火勢が温過ぎるといふの

い古み

が勝ち

**りぎ昼さが足りないか又** るのも此の為で、煙突が 前項の如く煙道が狭く

罐の能力も

が混つて黒くなつてはゐな 普通であるが石炭の粉末等

法を

航空協會入會志願者殺到

方針研究の會合をなす終つて 堂に會して教育現況報告並に 量終する教育者三百余名が一 會を開くが國都新京教育界に後一時西廣場小學校に於て總 教育聯合會後

降、救助袋による救助演習に 教いで模擬家屋の火災消防演 習があり連副總監の講評、金 習があり連副總監の講評、金 を立て終了それ より消防自動車、参加官廳圏 より消防自動車、参加官廳圏 所昇降、掛梯子による高所昇
監検に始まり救助網應用の高 第九回日滿家畜防疫會議第二日は廿三日午前九時から軍人會館に續閉され、内地、外地 央飯店にて簡單な晝食を繙り 時散會した 時散會した 家畜防疫會議

びに調査研究課題及各研究所傳染病盤生及豫防狀況報告並

首都警察の 稱呼變更

警察副總監と呼ぶことゝなつ首都の二字をつけず警察總監

監、首都警察廳副總監と呼ん副總監の稱呼を首都警察廳總 首都警察廳では從來總監及び

副總監

國都人の空への關心

満洲國體育聯盟並びに同滑氷 滿洲國側 滑水スケジュール

本の 本一月中旬、戸外デー衆第二 ・同講習會 ・最終日に記錄會 ・中旬、早大對全新京交體滑 ・中旬、早大對全新京交體滑 ・中旬、早大對全新京交體滑 三十一日、全國滑氷選手權 | 印刷し十 | に整理の

の出品数は

ゐるが受け 約一千餘に達して 締切りは廿五日限

月三、四兩日展覧一事業團體等で協議事項は出品目録賣價等を一下各關係者、隣保委員、 閉催し對策の協議並に 交換を行ふところあつ

席者は特別市公署側韓市長以 社會





岡書交換會

では第一期會員を募集したと

強會式を擧げた脳洲飛行協會 「中、新京) 从生班水 ▲ 八・三〇室内樂 M ★十・〇〇長 Y 室内管絃樂園 ★十・〇〇長 M 中 ★十・三〇琵琶「羅生 M 中 ★十・三〇芸 M 本 八・ ※……今晩の主なる演藝放送

於て性当檢查を行ひ正準會員 整に上つたので廿八日午前八 数に上つたので廿八日午前八 数に上つたので廿八日午前八

行場で行ふことゝなつた日曜日は午前九時から新京飛行場で行ふことゝなつた 七、火きにならぬ。 日の人出 南の風雨又は 南の風雨又は 雪枝様 登 四時四一分 後 四時四一分

藏ざらへ大賣出い

月三日迄

市價半値のものを更らに新品一割引赤札付質流

其他掘出物澤山

殿町三丁目十一

(鮮銀横)

三五九七

つた、なほ幹事班の練習は二 五十名を入留させること、な

なほ本年度は特に初心者のため協會指導員十覧名を委嘱し スケートの一般民衆化を計り 冬期の健康保險に努める可く 初心者用のパンフレットを作 成各方面に配布するはずであ 締切あす 人氣を呼んで今迄四書館の古本交換會 は隣保常務委員参集協議事項で午後零時半終了後一同鹿鳴

成各方面に

代議員會開催

統制問題をも協議

日本に於けるタップダンスの相様成として知られてゐる松井神氏は今度扇芳會館に招かれたの妙技を公開しなほ講習會を開くこと」なつたが廿三日 松井博氏來社

廣

女

しめんことを目的に九月堂々

决

ドアボー 來談下さい 右希望者は自筆履歴書持多本人御 但し市内に確實なる保證人を要する 輸入百貨店事務所京 中央通 十月廿四日 七歲 4 U)

森 六 高 店 豐樂路二一五 電話(2) IIO五七 度 會葬御禮 會葬 志 田 角

二十三日の靖國神社秋季臨時 大祭につき新京では既に九月 十八日に招魂祭を執行したの で別に祭典を行はないが在京 部除は二十三日午前六時頃か ら十時頃まで陸續と團除参拜 があり一般参拜者等で新京忠 靈塔は終日服はつた 特別市公署では酷寒を間近に +月廿日より卅一日迄 全店赤札一掃賣出中 HIRAMOTO 

秋季臨時大祭

の場合競技會は全部取止 有意義な一日を終る筈尚

阿月村、城内西五馬路慶康街警察署では廿三日午前十時引き級いて、原籍山口縣館毛郡

天秤を押收録

**職重取調べ中であ** と1もに隠匿して

ける靖國神社

禁制品密賣者

内市住害町、城內新 以子 (三七)、原籍

市郎(五二)の

即資會を開催する。この即資 便がある

一、冬期窮民救濟對策に闘する件

二十六日(月曜) 祝町立丁目

毎日 至午後丸時 自午

三日 間

時的の互利を



作傑の心快ンマルエウ・ムアリイウ匠名

たれさ合併に國衆合らかコシキメが洲ヤニルオフルカ 。たし化と鬼の讐復てれは奪を兄の身肉妻の愛最代時 史淚血の生半る躍肉を湧血のドツフンピロのドラドルエ

Sminny

カロル・ナイシュ 演助

I + I Comment 時 行與プツトスーノ回三夜晝

映上時同篇雄大二與新

氏 作 0 星 映化

H 本 版

ヤー社近來稀の互豪篇

ある、

格九十八

土建ニュ

为十二個八十级 000 度新 公司 000 度新 公司 000 度達 公司

中新に水道 事新炭酸の委託により明年解 を急いであるが、同水道は 工費百萬圓、配水量一日六千 であるが、同水道は であるが、同水道は であるが、同水道は であるが、同水道は であるが、同水道は

の意見は左の通りで意見は左の通り

工費百萬圓で

篇を拓ける珠玉 地を拓ける珠玉

會商進行に

紡績業者樂觀

(日

ある

要するに親しみ易いものが早ら先づ頒布の方から努むべし 膨く行き亘つてゐないとした

年產百五十萬噸期し

北票炭礦諸擴張

○不安人氣は依然濃厚にした。而して現物拂底によった。而して現物拂底によった。而して現物拂底によった。而して現物拂底によった。而して現物地底によった。

品騰を辿り、

は保合乍ら九月限は同二

### 新京九 經濟金融概况 月中 鮮銀支店調査に據る

(中)

度に減少したため、大連市 度に減少したため、大連市 では、大連埠頭在荷を では、大連埠頭在荷を では、大連埠頭をできる。 では、大連埠頭をできる。 では、大連埠頭をできる。 では、大連埠頭をできる。 では、大連埠頭をできる。 では、大連市 の杆騰を演じ、九月限亦に於ては現物は十四臺乘 の顔れ殺到に俄然爆

乗薄く、僅に收穫期に際し た月限は十一日七匱四五錢 と低落、、其の後下旬に至 るまで出來不申に終つた。 長期先物は大體中旬に入る や實需一服と休會續きに氣 玉整理一段落と共に人氣平、動れ强く四日五頃八七鏡と一途上伸を辿つた(八日十月限新甫を辿つた(八日十月限新甫 近期高につれてマバラ筋の他に吹上げた。十一月限も他に吹上げた。十一月限もを変じ、復又新高

月限三圓一

に八個一〇銭にて手仕舞商 に八個一〇銭にて手仕舞商 に八個一〇銭にて手仕舞商 にして、二十四日十月限六 にして、二十四日十月限六 にして、二十四日十月限六 はと再び軟調に轉じたが 七銭と再び軟調に轉じたが 七二銭と上伸して强調裡に二八銭五厘、十一月限五順なく、二十八日十月限六順なく、二十八日十月限六順の、マバラ筋の賣出動も終 上伸し、九月限も久方振り一日十一月限五鵬七三銭と相場は俄然騰勢に轉じ二十 相場は俄然勝勢に轉じ二十に下旬に至るや降雨連續しに下旬に至るや降雨連續しい。然る

を は の出廻 6 瀬文盛況に入ること となった 5 前後、 6 内瀬く殿盛を呈し、 活潑、 6 内瀬く殿盛を呈し、 荷動き 1 一 情寒の 2 単 を見越し、 荷動き 1 一 情寒の 2 単 で 1 単 の 1 はたが、本品は割合在荷鑒 さいたが、本品は割合在荷鑒 さいたが、本品は割合在荷鑒 とデリ安商狀を辿り、十二日には二国八九銭に低落 ルー銭十九日三国(三銭と引 期日接近と共に大豆の强氣 期日接近と共に大豆の强氣 から 他限は十二月末日限一 東の手合あつたのみで、出 率不申に起月した。

▲新京第二并浚滯工事 開札十月二十三日午前十時 原の器其他修繕工事は昨日 五百十八圓今井組とあるは 五百側今井まの誤りに付き 訂正 一、一二一千俵で、前回に對 ・ 大寒・神・大阪三品 ・ 大阪三品 ・ 大阪 大阪 ・ 大阪 ・

に比し一、三六○千俵滅の一綿収穫は前第一回の豫想叕表 依然たる閑散振を示し たが、後産地にては高値に繁 を呈した。中旬以殿は殆んど 小口當用買に終始し、下旬に 至るや二十六日フランスの法 質切下金輪出禁止あり、英、 米寫著下落につれて日、米為 替の急落を伴ひ、一方米棉相 香の急落を伴ひ、一方来棉相 「大阪三品も右鰭材料輻輳に 製は連日易鰺の一途を辿つた 震下阪三品も右鰭材料輻輳に 型需筋の買註文殺到と相俟ち 産地相場は益々强調を呈する に至つた。然れども當地に於 ては決済期たる仲秋節の接近 に金融資金繰關係もあり、問

頗る開散裡に越月 地株式市況

二一士士十現 三二一士士十袋 月月月月月 ●等月月月月月 展展服服 現服服服服服服 同物 

新京取引所市祝

1 | 益 | 1 巻 國防全線八千粁 1,38 6,13 彼女の場合 股旅千一夜 3.20 7.55 12,00 4.35 9.10

樂阪

敬

白

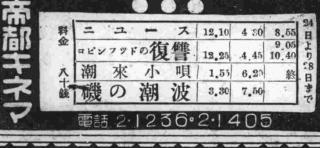


連

二九弗 二分九



國)











,	di	- 1	^ /	il a	, 14	2)
	玉		戀		御	
道	藻	鈴	娘昔	寶		語
<b>能</b>	削	ケホ	音	0	元	a cont
り	心神	林の	八丈	入	儀	物
九又	DC	段	~	船	132	番
F	竹	野	竹	野	竹	組
军中	本叶	澤	本津	澤	本入	121

(夫 太 部 南) 勝之介 一磨太夫 美太夫 登太夫 勝芳 花造

### 一大関する所に使れば北票炭礦 に於では年産額百五十萬噸を 日標に諸種の擴張工事を計置 日標に諸種の擴張工事を計置 と本年内には社員約六、七十 と本年内には社員約六、七十 て一般の注目を惹きつゝある一大のとして一般の注目を惹きつゝある の來票する者多數に及ぶべく 自然之等工事請負のため各組 費を合して約二百萬圓に達し 社國線貨物輸送 十月下旬 字新の模橋 機路總層にで昨年九月頃計畫 た河北新楼橋(元學及楼橋) の延長は本年度に於て施行決 定東亜土木の請負で去る九月 二十九日より着工現在工人五 來年度事業費約二百萬圓= 手許準備金切詰で

哉□税制改革の要領」と外務省
る▲第一號は大藏省主税局解

官報附錄として出るやうになつた例の「週報」を見るの「週報」を見るの「週報」を見るの「週報」を見るが、本文の組み方なが、本文の組み方なが、本文の組み方な

(東京國通) (東京國河) 日銀貸出增加 買戾し條件付の公債賣却

は、 から買戻し期日までの日歩を除した價格で買戻しすることになってをり實質上國債擔保による貸出と變らない、なほにおる貸出と變らない、なほが規則證券の買戻しは逆鞘となる結果實現不能とみられる

現文主卒・招留を は十一日新大阪ホテルに委員 の会を開催、十一月中現産率は 現行率が割に据置きと決定、 次で順勢販賞會社の總會を開 催、着期決算案配當年六分据

特命 一千一 

(十月三三日前場) 商况欄 海外經濟電報 一九片八分七

★上海為替 本日本向 111五 111 11 

八五五八 市 況

五百元至景人

番五六八三③爾 町枝ヶ橋街マイタ

朝旅生一衛兵才男 通逝主九三昌山杉・鈴十五田山作特活日 馬將大 す よ。 

100九五 士行飛の目盲 演主パラグーリイケ 作特トンウィラバ

二十二日 二十四日まで

1,15 5,56 國防全線八千粁

マネキ京新

(郎

當る十月廿四日

午後

五

會



猿)

スほ澤中河

が前進座一黨、日代村都右衛門主

演

主

ルキャスト

樂

場劇

(糸

垣內小間物店 近江工 劵 發 賣

吉野町二丁目 富士町二丁目 岡美昭 東 三 條 泽 日本橋通二

切大 三棒岩重阿 阿古 檀 古 屋琴責 永 忠 屋 **兜軍**記 竹竹豐竹 の段 本 本竹 叶津 小 越

美 松 磨 太太太太 芳 郎 夫 夫 夫 夫

藤 吳 女 蓉 和 店 庵 軒 軒

(平

尼ヶ崎本太 0 段 豊竹つ 8

勝)

0 段 猿は勝南 御 願 毎月管御願ひ申上るされば何率御遠慮なく知形引連れ御目見得開密りました幸ひ私共の報告して一味と組織して一味と組織して一味のなける。 る大第に御座いますの熟願叶ひ蕾る十月廿四の熟願叶ひ蕾る十月廿四の熟願叶ひ蕾る十月廿四の熟願叶ひ蕾る十月廿四の熟願叶ひ蕾る十月廿四

研更ももは追項の 関連のではたり したであれば算施

の方針を明示した、即ち 関の取扱び方については廣田 関内の意見を参酌し研究中で あつたが、廿三日閣讃席上左 あつたが、廿三日閣讃席上左

西安に到着

北支將領に招電發す

路氏に對し招電を發した
度を加へ來つた新盤省の盛世學良、陜西綏靖主任楊廃城の
ば張學良氏は最近頓に密接の代理部力子、西北剿腓司令張、良軍の改編を斷行するに至れ

ならば交渉中止の强硬方針に出づるも己むなしとしてゐるわけである

士:)

で綏遠主席

西安會議後

・ 才氏と通じソ聯支援のもとに 地域に蟠居するか或は外蒙ま 地域に蟠居するか或は外蒙ま

蔣氏、東北軍改編か?

學良新疆に逃亡を圖る

一、決裂か停頓かの分鼓點に をとらんとする逃避行 をとらんとする逃避行 で、西北邊境の軍事的視察に あり併せて

移駐の場間題及び中央軍の改編問題及び中央軍の改編問題及び中央軍の

際張學良軍が反勝運動の旗幟 西安會議の結果、蔣氏が張學に南京、西南抗争の激化せる が、蔣氏を中心に開催されるき筋への情報によれば、さき 石氏を激怒せしめるに至つたとのでは、西洋の大学の大学の大学の大学の

【上海廿三日發國通】南京交

た須磨南京總領事は朝野の注

に暗躍

交涉牽制

**藤重またこれが取扱ひに閉** 現にあたることゝなり陸、 を選ずる行政機構改革の質 を選びるためでは、地方

は関議で決定するところには関策で決定するととなったとは関策で決定するところに

豫算問題ご並行して

行政機構改革問題

閣議で方針決定

一中央、地方の二部門に兩分二

べ、行政機構改革問題を の方針を決定した の方針を決定した

章の第一歩を踏み出すこと」 ・ 本に五相會議によつて機構改 ・ 本に五相會議によつて機構改 ・ 本に五相會議によって機構改

に付國幣三圓五

タリー外相チアノ伯は廿二日 中前ドイッ外務省にノイラー ト外相を訪問、重要會談をと げた、南外相の意見は大いに 接近し、特に人民職線打倒共 同職線の展開につき諒解威立

側の遷延策に對抗して今後の交渉促進に闘するわが政府最後の對策を決定するはずであるが、帝國政府としてはす【東京國通】廿四日着京の須腾南京総領事を迎へて外務省は重大協議を行ひ北支明朗化、防共兩問題をめぐり支那

事迎へて外務重大協議

運動はますます深刻となり駐 けてゐるが、信ずべき筋への 對き夢をめぐりソ聯側の防共阻止 京交渉牽制運動に暗躍をつら 外で 京交渉を制運動に暗躍をつら がた ままれる おいま はい こう はい こう はい はい こう にい こう はい こう にい こう はい こう にい こう にい こう にい こう はい こう にい こう はい こう はい こう はい こう にい こう はい こう はい こう はい こう はい こう はい こう にい こう はい こう にい こう はい こむ こう はい こう にい こう はい こう はい こう はい こう はい こう はい こう はい こう にい こう はい にい こう はい こう

社債の發行に

貧金の調

興中公司

革命軍所屬軍艦に對し命令

▲谷川靖夫氏(雑誌記者)同 ▲野崎龍七氏(同)同 ▲河原利明氏(航空兵大佐) 同延吉へ

でに國民政府に提示せるわが要求は全體的に不可分であり、各項目の全部に

■をありありとみせてゐる、わが政府として將來日本の行動を制肘するこれ等の條件

條件を提出し對内的には輿論を煽動して要求拒絕を高調せし

取締諸懸案解決 等の諸要求はわが政府 が日支兩國の國交を 調整せんがために成都、北海、漢口、上海各事件解決

として外交々涉決裂も敢へて解せざる決心であるすなはち北支、防共兩問題をはじめ排日

と不可分の關係にあるものとして支那側にその先議を要求せるものであるが、支那側は北支問題については幾多の

**持して る るので 支那側があくまでわが提案を拒絕 するかぎり 國交調整を妨害する責任はあげて 國民政府にあ** 旦り要求の精神を貫徹 せざるかぎり 譲歩は絕對に あり得ないとの態度を堅

き姑息なる手段はあくまで排撃する方針であつて提案全部の一體不可分主義を最後まで嚴 を峻拒する態度にもとより變りはないが、この際まとめ得るものこみを成立せしむるが如

若し支那側にして過般の川越、蔣介石 雨氏會見における蔣氏の言明に反して國交調整反對の擧に出づる

金調達をはかつては如何との一、公司獨自の社債發行により資産が、関中

全然不明のため航業

る折柄同公司では昭和製鋼所體の資金計畫に幾多の難闘あ

政府に報告するまで

何も言へな

須磨南京總領事きの

日裡に廿三日午後一時五十分 上海より長崎天徳の日支連絡 船長崎丸で歸朝、同二時四十 五分長崎驛毀急行で陸路東上

海晏號遭難

飛行機急派

# 那側飽迄遷延せば 手川 【真ニ十刊夕朝紙本】

井上洋服店 御召服

聯反於

幹部派

各所に陰謀企圖

全提案の不可分方針を强調 横々と現はれてあるが、十三 の報道によればソ聯から獨立 したウクライナに於てはソ聯 政府のために共達主義の宣傳 をなした多數のアヂテーター

(涉決裂敢て辭せず

り、その他赤衛軍の地方將校でで政府陰謀がするめられてをり、その他赤衛軍の地方將校のが政府首脳者によつて

肚日英大使館 哈爾濱發赴任

大使館附武官スコット少將は 吉林鐵路局警務處長事務取吉林鐵路局警務處長事務取

移闘係の人事異動を廿三日附 務関係の人事異動を廿三日附

家具の

ざ藏の舗店舊

國務院辭令

セロナに

吉林鐵路局警務處警務同局警務處長を命ず 若 山 七三郎

ま日末りよ日四十二月十間期・呈品粗拘不に少多の上買御は中間期・

が相間に諒解成立

n

立澤道三氏(同)同 村田司郎氏(會社員)同 村田司郎氏(會社員)同

(丁一西合組費消吏官)

(東京國通) 議會召集期變更 問題に關し議院制度調査會特 別委員會は政府に對し 一、議會審議機能の擴充の爲 これと廢擦を生ずる行政事 これと廢擦を生ずる行政事 とれる原源を生ずる行政事

注記 してゐる、しか月案に相當電大なる事務的支 用案に相當電大なる事務的支

をまとめてをり、委員會の考 さうかといってこの支障をも るが、

政府 が今後十一月家で押切るかあるひは九月家に近もどりするかそのいづれに

第第

あるともみられるが

新京西廣場小學校 新京西廣場等小學校訓導 近任才 等口尋常高等小學校訓導 近任才 等口尋常高等小學校訓導 近任才 等口尋常高等小學校訓導 一四平街尋常高等小學校訓 等工程 新京總領事館へ出向を命す 公主讀尋常高等小學校訓 公主讀尋常高等小學校訓

繰上げられ、かつその期限が 環算は必然的に精密さを鋏ぎ 機算額出の現象を再現することになるが、調査會がの上でなほかつ十一月案 を答申するならば政府として

で首相からもこれに相當辯護を行ふ方針である、委員會が會計年度變更に關する質問を接返したのは十一月案がだめな場合さきに大旗智闘係の支

關東局辭令

外經濟電報

ス米國提督

電話ですります。 電話ですります。 で民政部會議室において開催 されるが、今次の會議は大津 科長の餌合せでもあるので、 一定の議題も定めず極めて懇 談的に地方行政の實情を瞻取 する程度に止め經理科長會議 においては豫算編成に關し各 においては豫算編成に關し各 においては豫算編成に關し各 においては豫算編成に關し各

海軍力强化を力説

(8

當局の方針にも、

作戦部長スタンドン十一日 強國通 コンス・オブ・アメリカン・リエー 日 強 を 告を な すと 共 に 海軍力 タッド レー 提 督 は と 大 な が の 大 な で と 共 に 海軍力 ター に は る に 前 の て 進 み つ 」 と 表 で で と 共 に 海軍力 ター の 張 軍力 ター の 張 重 力 の 張 電 上 な る と 共 に 海軍力 の 張 電 正 よ る 統 治 か ら 個 人 の 獨 裁 に よ る 統 治 か ら 個 人 の 獨 裁 に よ る 統 治 か ら 個 人 の 獨 裁 に よ る 表 の は 法 律 に は る な ら た め は な ら た め は な ら た め に ま る で 、 吾 で と れ に な ら た め に ま る で ら な に な ら た め に ま る で ら な に ま る で ら な に ま る で ら な に ま る で ら な に ま る で ら な に ま る で ら な に ま る で ら な に ま る で ら な に ま る で ら な に ま る で ら な に ま る で ら な に ま る で ら な に ま な な に ま な な に ま な に ま な に ま な に ま な な に ま な に ま な に ま な に ま な な に ま

政府軍最後の

十月廿六日〉總務科長會議十月廿七日〉財務科長會議十月廿八日〉財務科長會議

のやうに割つた 一行はみな別れ別れとなっ を記させてある。、日本智學生と認めない、文部省とは必ず將來の滿洲國の留學生と認めない、文部省とは必ず將來の滿洲國人のイン を表とする、此の點でいるのは、日本智學生と認めない、文部省日本の國人の不足に努力しても必ず。 してるない、文部省のは日本での。 は一方と対合せてあるが今後は一つのは、日本智學生と認めない。 ない、文部省のにの話がまだして、 が行って表し、 にのいるのは、 にのいるのに、 にのいるのは、 にのいるのい。 にのいるのは、 にのいるのは、 にのいるのは、 にのいるのは、 にのいるのは、 にのいるのは、 にのいるのい。 にのいるのは、 にのいるのいる。 にのいるのい。 にのい。 にのい

要衝陷落

十月三十日 經理科長會議 おのた おのこと」なった 一次 事務主任 會議は 拓政司長日本出張中につき延期 されること」なった

一層必要である

關口總務司長

【大連國通】滿洲國崇政部總

大連着語る

議を召集することゝなり、右 | 事處長、筒井外交部宣化司に控えて管下十省の各科長會 | 都宮學務司長、源田總務卿民政部では豫算編成期を間近 | 務司長關口保氏は過般交対民政部では豫算編成期を間近 | 務司長關口保氏は過般交対

四日落成

**手形交換高(世目)** 

鮮魚小賣相場

制一四五 七二

幣二宝钗一型、0回四元0 票一次枚 三二、八五百六

務司長陽口保氏は過般文教部 都宮學務司長、源田總務廳人 事處長、筒井外交部宣化司長 宇岡闢東軍参謀と東上、留學 生問題につき陸、外、文三省 との折衝を了へ二十三日入港 のうすりい丸で來連したが次

傳へられた報道を綜合す

ところは、主として農業朝鮮と、總督府側の企圖してゐる から工業朝鮮への躍進を目

貿易國策確立の為

生產輸出入統制

商相の貿易統制方針

の ・ 機定に當つては重要産業統制 制法、工業組合法も改正する を関係して、 を関係して、 ので質易統制組合法の を関係して、 のででである。 のででである。 のでである。 のでである。 のでである。 のでである。 のでである。 のでである。 のでである。 のでである。 のでは、 のでである。 のでは、 のでである。 のでは、 のでは、 のでである。 のでは、 のである。 のでる。 のである。 のでる。 のである。 のである。 のでる。 のである。 のでる。 のである。 のでる。 ので。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 ので。 ので。 ので。 ので。 のでる。 ので。 ので。 ので。 のでる。 ので。 ので。 のでる。

民政部管下

十省科長會議

(=)

義務教育八年制

根本方針決定

文部當局

日本内地と深い関係を持つ朝 群でありながら、その經濟に 護薄ら ぎ勝ちで あつた こと は否定出來ないであらう。さ うした狀態に改變を要求した ものは、むろん満洲事變以後 の大陸經營の問題が日本にと つて以來の諸情勢である。こ れらは深い注視を納いであらう。さ れらは深い注視を納出事變以後 を調査會の企圖が時宜に適し たものと考へられるだけに、 その成果として將來の展開の ために効果的に寄與するやう ために効果的に寄與するやう ために効果的に寄與するやう 一般の闘心が昂まつてゐる。催され、朝鮮經濟に對しての催され、朝鮮經濟に對しての朝鮮産業經濟調査會が開 年限を八ヶ年に を向上せしめるため義務教育 方國策としての電力問題は な具體的な資料もほど整ぶ な具體的な資料もほど整ぶ

一 に廣田首相、馬場誠相は義務 田 教育八年制確立の根本原則を 関係より文部省案の實施年度 について の議論が行はれ の議論が行はれ ることがあつて ることがあつて お ち 年限延長の根本方針は決定 出るる。

おいよ旦夕に迫つた なり、マドリッドの運命はいなり、マドリッドの運命はい

量衡器販賣市公署新度

を十一月一日の目前に整へて 市内の各商店、工場、一般市 民等は何れも新度量衡器を購入 人しつゝあり既に九月だけの 質上が二千百八十七件に及ん でおり、これを目當に市公署 ではり、これを目當に市公署

不許可の方針

の非常な期待裡に二 押すな!

新京取引市況 (十月廿三日後場)

强银物 寄付 大引

間における懸賞豪集に當選し一週間行はれた度量衡宣傳週 口で立往生

黑漠線海晏丸

歓喜の開店 井支店

各地商品市況

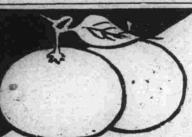
謹啓

晩秋の候皆様には盆

寄(短期)

丸沈没か

第二回資



電話②三八七九番

京商議議員會

七日午後三時議員會を

一度御來遊下さる

の行流年本。一

品物履寒防

禮申上げます就きま

內部敗裝中

毎度御引立を蒙り厚

御事こ存上ます

十月廿五日\*\*。一 三日間

松井部隊活躍

老梯子匪の潰滅ちかし

定を制定 (京城支局) 朝鮮鐵道局では 列車運轉回数の増加並にスピードアップに伴ふ列車運轉画数の増加並にスピードアップに伴ふ列車運轉事故防止に備へ人意的事故は絕 無を目標として來つたが一層 之れが向上を期する爲め瞬區 と近極の運びとなる複様である。 近日 なり此程同規定を制定、近日 なり此程同規定を制定、近日

を ところにおいてこれに痛撃を 加へつゝあるが、さすがの匪 加へつゝあるが、さすがの匪 かんかったいでにれた痛撃を かんがったがの匪

お國のために

今は正業にいそしむ良民

吉林鐵路局映

0

のた

明年度總督府豫算

【瓦房店支局】復縣警務局長 長に轉任後任は栗樹警務局長 長に轉任後任は栗樹警務局長

雉子の北満

間島地方稻作良好

々會社では來る十一月一日 | 轉す

治法撤廢に 警察署長 よ當事者は辨解 人士の行為

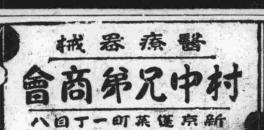
新京に於て新に地間を作製するのはどの位困難でありするのはどの位困難でありて居るかも御研究顧いたいて居るかも御研究顧いたいて居るかも御代を離して居る云云御尤もだとも考へるが當事者はより以上の施設が當事者はより以上の施設が留事者はより以上の施設が留事者の心理がらかまたの常事者の心理がらかまたの常事者の心理がらかまた。

五、憤慨生氏よ未完成ながら 料金表を掲示してから僅か に二ヶ月間にあの掲示板で におられたものが驚くべし 大千余枚に達して居る。こ たが象が出來ても掲示す

公器である

住宅 を王の党味 五十人樣まで にも致します お引受け出來ます







全満シネコダツク映畵コンテスト

題材は自由です。長さには制限ありませんが四分間以上映寫出 来るもの 簡單でもタイトルは是非御附け下さい

御一人で何點御應募になっても差支へありま 御應募の映畵は入選と否とに拘らず衝返却致

イーストマン製の16M又は8Mフキルム使用の

5 2 切 昭和十二年一月三十一日 先 大連市山縣通一八一義昌洋行內

満洲シネコダツク協會コンテスト係 審查發表 昭和十二年二月十五日

コダツク賞メダル 若干名

△但し御應募は **満洲シネコダツカ協會員に限ります** 

費下の力作は是非このコンテストに!

満洲シネコダツク協會 後援 #イーズトマンコダツケ會社 ◆ (◆) 計を垂らしてるも ・ (◆) 別け放しにして鼻

の肌を整へることを

罹り易

の風

▽悪性昻進の豫防法△

引きやすいものです。

の番組

(新京 放送局)

日與俱樂部

三笠町三ノカ

超度建築土木材料一般へ和運輸公司

土公地認

大同報配者 有岡 芳一有岡 芳一

**尿無線** 

金野球なき場合 ・野球なき場合

金融にます数

らすくらゐですが、少し進み輕いらちは水鼻やよだれを垂

いこれは主に胸腺

AA

秋を刈る

 $\Delta\Delta$ 

19

に満ちたものはあるまい。寂かすぎたる晩秋の馬気

痛のない病氣であるから素

務の中でもまた一ばん重要な 動であらう時に、少年時代、 動であらう時に、少年時代、 大型で、家庭醫の任

死上

三分の

來結核はその初期には全然

れてゐる間は自分がかゝ

れは無理からぬことである

ければならない。

00000

それ

### 病勢が進んでゐる 秋明 いた時は

王月李

榮養ご衛生

育兒十

二ヶ月

及兄七百八十六<u>久</u>(二)

(イ) 母乳は、産後二十四時間頃に、初めて興へます。 これは初乳と言つて、大切 な乳です。それまでに泣い たら、白湯を少し興へる たら、白湯を少し興へる たら、白湯を少し興へる にしく興へること。一二ヶ 正しく興へること。一二ヶ

30

3

讀

1 ぜを置て、縄帶しておくかり乾かないうちは消毒が

砂糖大匙すり切一

一〇〇、四〇九〇

百二十五瓦、四週 三十五、いづれも 一五のお湯で薄め、 一五のお湯で薄め、 一本のお湯で薄め、

料◆◆三行 一回金一回。金八十錢 中一回金八十錢 一回金八十錢

▲榮

るが、それが財政上とうてい不可能だとすれば、肺結は年々大多數の病床を増設することが重要な一對策では年々大多數の病床を増設することが重要な一對策で 定期の健康診斷がゼひ必要

(三、八〇〇瓩) 類長、男一尺八寸(五四、五 身長、男一尺八寸(五四、五

體軍、男一貫〇六十六匁(四、

三分(四九、四糎)女兒一三分(四九、四糎)女兒一

(ハ) 牛乳を與へる場合は、

(なるべく午前十時

一二〇 ニュース (楽語) 三、新催眠曲 三、新催眠曲

(3)四九三七 安僧譲り度し又貨

元、特別快車 一五、特別快車 一五、特別快車

に静かに長くさせ

かな日光と新

**●發育狀態** 

〇〇瓩)女一貫〇十三匁

感染

らぬ。この療養指導は病氣のが第一必要であり、すでに病が第一必要であり、すでに病したを及療養指導をうけねばないなど、軽い間に は一々醫師の専門的指導をう は一々醫師の専門的指導をう

病床敷の需要を大いに減少せしめ

あるが、

要するのは家

結核の疑ひあるものも入れるいふやうな結核性のものや、腹膜炎と

が輕極ですむ場合は別として特別の症狀をあらはすのですした病源菌の種類により追々

がを得ないこ

他の手當當

その病源菌の毒性だとか、

カリエス、肋膜炎、腹膜炎と 内腸結核、結核性腦膜、脊椎

悪化することもありまずかられらの黴菌が共同して病狀を

落ちますが、痕がすつ勝帶は六七日目頃に乾

牛乳百七十四瓦にお湯三百 體の標準は一週目が一日量 の標準は一週目が一日量

痕がすつ

ち隔離である、その他の場合 場合でかゝる場合には殊に乳 場合でかゝる場合には殊に乳 にされない方が有利だ。 には餘り神經質口

凋落の秋を奏づる

ケ年間の「東京市

00000 總數から云へば昨年度の七八程增してゐます。全體の死亡 女見の方が非常に多く、 へば九月と十月、學年で ふように高學年になる

ことが非常に多い、この

は氣温の變

型がくづら

その端に帽

三、三〇 經濟市

一、五〇下午演奏一、五〇四湾市況(東京)

事館正門前南州 党 間ひ合せは領

れますから、テープがけると、かへつつ

3 十三三四二

ひ高温のため病人のつか

をさまたげるから特別に高熱 のあるほか用ひぬ方かよい、 また顕布やからしの貼布を ◆) ◆ 部に行ふ場合でも (例) 子供が安眠中はさ ◆ ( ● け限ざめてから交 を な風に注意して看護につとめ さべすれば、たとひかぜを引 き百日暖になり、はしかに感 を可しても順調に經過してやが がしても順調に經過してやが

貴女の美を保つ、第一の要素でお嫁に行くお嬢様のために、二週間

込む習慣をつけマニキ

は睡眠です

3

○ はつけて御覧下さい。すべてはつけて御覧下さい。すべてはつけて御覧下さい。すべてな小さい部分耳とか襟の生際

貴女の美し

頭固な名主機(知々夫者等人、四五 昔ばなし

一、合唱 今夜のお月線 一、合唱 今夜のお月線 ピアノ伴奏 武澤 武外 七、五〇 ラヂオ風景 小大 正夫 

サック・無化作用する。 御町第一部ビルニ十六號室 部町第一部ビルニ十六號室 部町第一部ビルニ十六號室 電話專門公益社

帳簿專門 ★松接骨院 宋松接骨院 ね

八、〇〇 時事解散

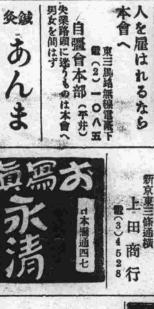
± = 1 ×

(東京)

認公 電話等金融 特名英雄多額氏 なる當社へ!! 京土地建物會社 果一條通り四六

E I





被殴マッサージ術 動気按摩マッサージ科 動気接摩マッサージ科 動気中央通九番地 動家中央通九番地

等三式教水旁方 生田流當道會 大和通亮新京館

無話3四七七〇番 ◆◆◆◆ 神婦淋脚 傳家 經人

印刷 三方十六



百十六匁(三、〇六〇瓩) 百十六匁(三、

一は結核性

とへば一年に一回、二回とかるといふ以外に方法はないた 間に、折々醫師の診査を受け

■ 診査 の方法は階部 素人の方ではくはしく知らな くてもよいが、現在の處では ではなしく知らな

に健康診査を受ける、いつ回、四回とか一定の時期ご

くらぬは是非やつてもらはな

夜 駒 主要病名 死亡見主要病名 死亡見主要病名 死亡見

結婚を前に

お嬢さ

らしてみめ麗し

死亡兒童實數

クリンの反應や、

血液の檢査

暗に用ひて

分位水を場

(大道・新京) 子供の時間=大阪桃 子供の時間=大阪桃 子供の時間=大阪桃 ・宮藤公示・番組教告 ・マース・(東京) ・大二〇今晩の番 ・大二〇今晩の番 ・大二〇一大二五 政府公報 ・大二一五 政府公報 サラ リーマン金融、信 本 学行までおいで下されたし 本 学行までおいで下されたし 本 学行までおいて下されたし

貨事務室 中央通郵便局前 中央通郵便局前 ルカスト

◆金融◆ 大和通り六五(金光教師向)

大 病院 備完大,道院人

辨天堂治療所 九州堂療院 小條橋詰 かる

炎あんま

電話と金融 覧

永清 銀の五九五日

新京永樂町三ノ

一陽堂療院

ra

\* 白 新米 1 新米 3 カイ イタ クイデス タ

新京三笠町一丁目新京三笠町一丁目 金融和 店質屋濱橫

鍼灸術教授

ぶたまん専門 電(至)一八五五 P

帝キネ裏

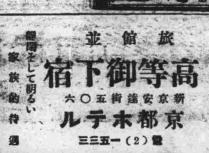
朝日通 仲屋 玉突台店 朝日通 仲屋 玉突台店 水規開店ニ付キ特別優遇スポートを 市 玉突台 約型使用 サーム取り み人少年 東人ニテモ可 瀬川物ニ合玉百圃附属・式付 がり み人少年 お茶条道具 みどり茶園

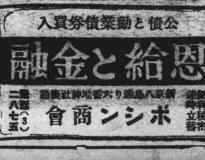








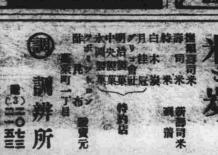






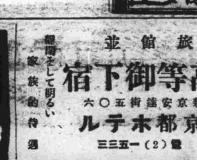












入して來

一等盗事件が起つた以上、ゼーなってしまふ、おれたちのか、それが出来ないやうにさか、それが出来ないやうにさいたられてはこつちが上つだり、

だって、何も文さんだけが特だ、尤も鼎配の印を捺したの

臓品を受取つたり、又動脈品を受取つたり、又動

から如何なつたかは次

彼はさう考へを定め、計畫

方がそれなのか、それもうちの親さへ許さんといふっか、 まりやあ、 先生たち役いか、 こりやあ、 先生たち役がが、 合に言ふり州官ならば放火をしてもいい、 人民には監験も許さん4といふのには監験も許さん4といふのには監験も許さん4といふのしても、 疑はしいところは関連しても、 疑はしいところは関連しても、 疑はしいところは関連ならん-

一枚盗み出し、それから響總 一枚盗み出し、それから響總 一ひとつ斯らやつてみやら船 では伴書が一人ゐなくなつた のでからお困りでせら、で代 のでからお困りでせら、で代 を留めさべすれば、それから を留めさべすれば、それから を留めさべすれば、それから やんと符合してるんだ。どう やんと符合してるんだ。どう で、尤も鼎記の印を捺した印はち

捕吏の考へでは、若しその のやつてゐるからくりが見破 られる怕れがある、それより 小さな罪名で彼を追つ拂つた

がらうと、その通りにすることにした。事の次第は魯總爺 にも報告された。一人多くを のにも報告された。一人多くを を続したわけだつたが、彼は そんなことには別に意もとめ

云はうとした言葉を引き込め (なら可笑しいわれえおばあ さんだけ遊ばせるなんて)と

直つた。

大された。 日が幾日々々と續いた。今までの彼にも似合はぬ元氣のない額でしよんぼりと窓から北い額でしよんぼりと窓から北に痛く映る様になつたのもなに云つてゐるし、又何となたに云つてゐるし、又何となても身體をぬく事が出來ない支配人の話ではもう一人此のまではもう一人此のおに來るとの事だつたが、と

は高らかに笑つたがもと

う云つて何氣なく

彼女等

まさか彼女に限つて、…… まさか彼女に限つてきた。 生一本の撤也にとつて彼の全身

疑ふなんて男として最大の

云はうとした言葉を引

はあ顔に云つてみた。 電話はひつきりなしに頼んで でなに、そんなこたあない。 はいでは大陸評判が悪いのね」

お千代は眞疑を怪しむやうに

せ、お婆さんにだけあし は、居眠りばかりするので小とを眺めた。 ついてゐたことがあるおもととを眺めた。

おもとは三杯も四杯も代へて

官場現形記

船に行つて總爺に會ひ、來意

に送りかへ したら いゝでせ

monumen

「依估ばかりする

ながら云つたのだつたが

「今迄

わしが働らきに出た先

屋の小僧しとるが、なかくえらい子なんじや、おつかさんもうんと働け、わしも株を研究してもうけるちうてな」そう云ふおもとの言葉におそれは笑へなかつた。病院の

ては、もう一度是非とも會つのでさうする事にした。ついな作つては何らかと云はれた

けてくれるしね、いゝとこへ遊んでるときは會費だつて負

してくれ、働らき甲斐

屋の小僧しとるが、なかく

あたしの處はいゝ會長よ。

手を想ひ出して、

ひ出して、しんみりと

「○○ちうのから出とるんじゃけんど、會長が酷ふて」 お千代は獣つて茶をするめて お千代は獣つて茶をするめて

は、おばあさんでなきや用が とのこの怒つたやうな言葉に とのこの怒つたやうな言葉に

から幾らか好奇心

お千代は一寸

ら一杯注ぐとお

お千代は

大盛りに盛った飯を置いた出してお千代はおもとの前に

「澤山上つてくださいな」

っ し と云ふ噂さを聞いたことを思 と云ふ噂さを聞いたことを思

て話したいから、何時か暇を見て遊びに來て下さい。とあった。讀み終った彼は何とも云へなかつた、何と云つて良いか何ら考へて良いか分らなかつた。

ケ月遊んどるどうもから

きいたこともなく、別れ際に交替のおもとゝはろくに口を

かつたがかさり

にかはき、

おもとの岩墨な肩は元氣ら

だった。

に今日訪ねてきたものらしか 云つたのを、おもとは忘れず

別はもうかるそうですから)

やい暇なの

賞小說一等當選

の暗さを氣にし乍らも、もうれた醪であつた。薄闇の漂ひれた醪であつた。薄闇の漂ひれた醪であつた。薄闇の漂ひ 老附添 婦 (上)

らひが悪いの?」 「わしらあ、おべつかなんぞ 云ふの大嫌ひだし、つゆとず かり辛く當つて四十面さげ おもとは突然に細い眼を卑し とをみつめたが、やがて憐 もとをみつめたが、やがて憐 もとをみつめたが、やがて憐 おもとは間斷なく煙草を吸った。分厚い醜悪な唇から薄紫指にも顔面にもニコチン中毒 でわしらあ、飯どきに人が來 たら、なんにが無くとも食べ 御一諸にいたどきませ

らく彼一人だつただらう。
此して直ぐ歸つて吳れたらと
此して直ぐ歸つて吳れたらと

の日を長くくく感じたのも恐いからら。釣瓶落しと云はれる秋らら。釣瓶落しと云はれる秋らら。釣瓶落しと云はれる秋

足

富

虹

士

まらなくなって來るのだつ

と立ち上つた。手を伸ばせばを立ち上つた。手を伸ばせば はお幾つ?」 撤世は以前にも増して朗らかだつた。彼にとつては毎日だと此の上もない喜だつた。彼の餘りに張り切つてゐるのには、反つて同僚が驚される位だつた。あれから二三度秋村の姿を見付けたが、もう今では何とも思はないで平氣であられるのが自分乍ら現金がと苦笑した。彼女が出發してから丁度七日目、待ちに待つた便りが届いた、それには田に相談して見たら、結婚のとも思いた。それには田に相談して見たら、結婚のとも思いた。それには田に相談して見たら、結婚のともという。

印

で一年位働いて結婚後の費用又丁度良い堅い勤口があるの

元 質 發

郡京 屋古名 京東 阪大

井

占めてゐた手がふるへ出した A子はかり云つた。 「妾ネ。憨々歸る前日、最 後の散歩にと、キタイスカ や街を歩いてゐるとま了驚 くぢやありませんか、一體

店

「此處にゐらつしやる筈の 奈津子さんに出會つちやつ たのよ、懐しかつたわ。全 たのよ、傾しかつたわ。全 く涙が出て仕方がなかつた の。妾、何時迄もお話した かつたけれども、何んだか お連れの方と御一緒らしか つたので、遠慮してすぐ失 でしちやつたわ。あの人の

ある。 彼女等は一心に聞き入つて

・婦人内科 人派尿器科 電3.5397番東二条通交番職

思ふと、愛しい筈の奈津子に思ふと、愛しい筈の奈津子に思ふと、愛しい筈の奈津子に思ふと虫の良い空想は途端にがらくと崩れてしまつた。 奈津子と別れて丁度一月餘りも過ぎた頃半年前に哈爾濱の話がとりとめもなく次から次へと盡くる事なくく次から次へと盡くる事なくを聞いた時、非常な衝撃を受を聞いた時、非常な衝撃を受を聞いた時、非常な衝撃を受を聞いた時、非常な衝撃を受けて、わなくと思はず握り

もとの卑屈さがあはれだつたとおもとは腹立たしそうに一とおもとは腹立たしそうに一 「今度くるときあ買つてくるお千代は見棄て驚をかけると 眞白き コスモス(5) 金

**煙草が肺に悪いからと云ふだ** あつた。小兒の母はさすがに

と云ふことだつたが、いまもけの理由しか洩らさなかつた

置いて引つ語

は他の

いて引つ張つては起したとがおもとの手に糸をつけて

があつた。

婦たち

奈津子だと思ふと、その理性 い動口とは、人の良すぎる い動口とは、人の良すぎる まらなくなつて来るのだつた が想像せられて心配で (た が想像せられて心配で (た

妙にその人が待たれて仕方がない、そう思つてゐる撤也の 限に時々ふつと今この前で踊 つてゐる幾組かの中から奈津 子が不闡振り向いてにつこり スキー

手編毛糸界王座を 名實共に れとそ 占める逸品 印は

金返効無

后 里 天

然堂

前座日朝.通日朝 (3) 震 三五四

專門

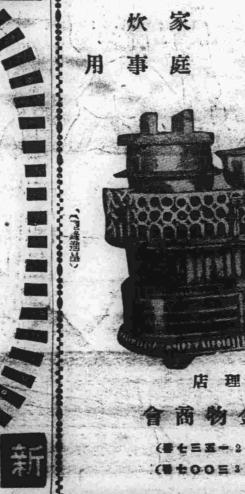




寧 t刀

造品 店販賣





新型 特許 煤煙防 止 燃炭最適



(六)

PERSONAL PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PERSONAL PROPERTY OF THE PERSO

をお與へになることが、 胃腸の働きを强め、身體の抵抗力を増進する「細胞賦活」の作用にすぐれた若素(わかもと)にもつとも必要な發育促進のビタミンB複合體を始め、種々の貴重な栄養素を含む上にい も進み、肥つても來なければならぬ時期であります。この機を外さず、 漸く秋冷が訪れてまるりました。身體の弱いお子様は暑熱の悩みから解放されて、 とは、 多くの親御様の共通したお考へであらうと思いますが、それには虚弱なお子様 最も効果多いが法であります。 何か榮養劑でも

## 慾を増 消化力を强

するのと違ひ、胃腸至體の機能が强化され、その結果として自然に食慾もすゝみ、消化作用も活際になるのでありますから、然に食慾もすゝみ、消化作用も活際になるのでありますから、然に食慾もすゝみ、消化作用も活際になるのでありますから、ることを防ぎ、便通もまた順調になります。 して食慾を進めたり、消化劑などで他から消化作用を補つたり若素(わかもと)の大きな特色であります。苦味劑などて刺戦 築養増進の根本である食慾と消化力をさかんにすることは、

設育を促進し 抵抗力を大にす

2番病などにも罹り易いのですが、そんなお子様には若素(わ P人並に伸びず、身體も痩せてゐて、胃腸の病氣や、寒胃、呼は、發育がおくれ勝ちで、筋肉や骨格の發達が惡るく、背丈生れ附き虚弱だつたり、哺乳時期に胃腸を痛めたりしたお子 (ともかわ)素若 色特の り胃腸の働きを強めて、築養を増進し、結核病等の消耗症には病菌に對路器官の衰弱を恢復し、その機能を健全ならしめるにあつて、これによる綜合療法の境地を開いたヘーフェ菌劑であります。作用の根本は身體を禁止の機能を開いたヘーフェ菌劑であります。作用の根本は身體を表し、 **栄養を増進し、結核病等り削ぎ計** その機能を健全ならしめるにあつて、 作用の根

する抵抗力を増して治癒を促進する等各方面に効果を競揮します。り胃腸の働きを強めて、禁養を増進し、結核病等の消耗症には病菌に對

られて居ります。

體も次第に肥つて來、抵抗力も昂まつて病氣にも罹り難くなり自ら食物から榮養素を攝る力も旺となつて、發育がよくなり身の酵素、その他の成分の作用により、必要な榮養素も補へば、 人工築養の赤ちゃんは母乳見に劣らぬ發育をみせます。

## 運動などの 勞を輕減す

運動に耐え得る腦力體力を養はしめます。の作用と相俟つて、それらの疲労を輕減し、 理となり、 る、ビタミンB複合體や、燐酸化合物を豊富に含み、細胞賦活 、2。夜睡眠中に寝言をいつたり、夢に怖えたり、盗汗をかい、然態が充分耐えてゐるかどうかといふ事を氣を附けねばなりま ん。それを防ぐためには、若素(わかもと)をお與へ下さい。 やうな様子が現れましたら、學課や運動がお子様に取つては無 たり、また食慾が減り、元氣がなく、 精神的にも肉體的にも疲勞を防ぎ、能率を向上する効果のあ 學校に上つて居られるお子様は、學課の勉強や運動に身體の 健康を脅かされて來た證據と思つて間違ひありませ 書も居眠りをするといふ 更に一層の學業と

などをへ考る心配なく、發育を促進するビタミン複合體や諸種みを含んだ榮養劑のやらに、體質に適ふ適はないとか、副作用かもと)をお與へになりますと、肝油、その他の一二の成分の



事を記すと、『もう一瓶やつて御覧なさからました、そこで文書局へ行ってその場が終り頃になると、効果が現はれたの業が終り頃になると、効果が現はれたがあれるまり効果も見えない線でしたが 英助

入事にし過ぎて失敗

だんだん質問が丈夫になったと見えて血って来ました。その薬を興へてゐる内にって来ました。その薬を興へてゐる内に

**編纂して御寄贈する事に成りました。** 掛圖をわかもと本舗の篤志で毎単校で不足せられてゐる教授用 贈引換祭」が附いて居りますから、 てにならず御膳意の小學校へ御客附

枚数に應じて、本管編纂の掛圖を御めの上本會へお送り下されば規定の

下さい。小學校ではその祭をおまと

御照會次第御通知致します。

相呼應して敵狀を偵察し出動部隊に對し通信筒連絡を行つたが、各精鋭部隊巡査部長の操縦する警察機に搭乘し廿二日午前九時鳳凰城飛行場を出發空陸

へ工賃を拐帶

元周雲(二

「鳳凰城にて宮崎特派員發」鹽澤警備課長は飛行班長松藤警部を帶同、田中

鹽澤課長飛機下

記書を捧讀、趣樂管理者の工事報 会局後現會長起つて式辭を朗讀、 大式は一同皇帝御像拜禮、バンド奏 本國済局長其他各機關代表者、會 本國済局長其他各機關代表者、會 本國済局長其他各機關代表者、會 本國済局長其他各機關代表者、會 本國済局長其他各機關代表者、會 本國済局長其他各機關代表者、會

紅卐字會滿洲總會

討伐の各精鋭部隊

氣頗る旺盛

石川少將慰靈祭

盛大に執行さる

ゼル、ローヤルをない。

ーーファンにとつては何はさ ておいても見逃がせぬ、いや 買逃がせぬ一戰であるかも知 現象を外にして、社團法人組 現象を外にして、社團法人組

宿舍たる新築の領事官邸場のひつゝ十一時五十分御職はしく擧手の禮を

でで、近くも笑ふもあと二日 年のシーズンを終ることとな 年のシーズンを終ることとな

百人、馬券の要上げ總額は約 一百人、馬券の要上げ總額は約 一百人、馬券の要上げ總額は約 一百人、馬券の要上げ總額は約

び豚肉を買つて歸宅したるをり込み賊が寛城子から野菜及り込み賊が寛城子から野菜及

三年にしかならぬ新京蔵馬の なつてから朱だ

煤煙防止

展覽會の

月二日で入場者

開院若宮殿下

【海拉爾國通】開院宮春

には御附武官秋

御安着

# 單身隱れ家を襲つて大格闘 領警署金刑事の殊勳

五日匪名金生一味が織道北 であたが金守槙刑事はさる 中夜兼行で匪情蒐集につと 管に潜伏し市内侵入の計

の手で逮捕されるにいたり、 の手で逮捕されるにいたり、 なほ一味のうち一名は小合隆 地方襲撃の目的で三日前新京 索し近日中に逮捕に赴く模様

圓平均に増加して 過ぎぬから何れに於ても二倍 較してみると人員に於ては が六萬三千、 める、これを過去三ケ 枚が五圓となつたのは十年 一倍の飛躍的増加振りである 五圓か今年は廿四、

日が比較的多かつ 納めたのは天候

首

都警察の日

兄解相違で

豆タ

ク行腦む

逃走 ミシン を返さず

今年の總入場人員十二萬人

賣上げが三百萬圓!

田 二百七十五萬圓、一日平均五 高七千圓と言ふことになつて ある、八月十一日の六百圓と 言ふ大ガラのあつた日なぞは 入場者は三千九百名、賣上げ か八萬二千圓あつたが 市内大和通り大同醫院内馬李 上町四丁目四番地百中靴店職 上町四丁目四番地百中靴店職 工安百中(三二)にミシンー 合時價二百五十圓を貸奥した が百は九月二十九日返さずそ のまゝ行方を晦ましてゐたと ころ二十三日午前十一時ごろ

日滿尚事宣傳主任堀亮三氏を | 保護防止委員會の功勞者たる | 協議し午後三時頃散會した | 保護防止委員會の功勞者たる | 協議し午後三時頃散會した | 保護防止委員會の功勞者たる | 協議し午後三時頃散會した | 保護防止委員會の功勞者たる | 協議し午後三時頃散會した | 保護防止委員會主任堀亮三氏を **融合上追ひつ追はれつの香ば車ニーヤとお客との間に日滿** 快なスピードで町の隅々まで打柄突然至極低簾な料金と軽 市民に便利な足を提供しや

を出数することになった例の 豆タタが既に去る八月十五日 スライ と領事館警察の隣門 を通過、大きな大皷判ととも に正式許可書まで頂戴、來る 十二月一日から得意滿面、そ の名の示す輕やかな馬力で國

十五日から三ヶ所で六日間

り决定す

一方の所管署首都警察廳の豆

三投跳の

寺錢稼ぎの鮮人一味捕る

野村總主事來社

店

着任挨拶のため本社を來訪

局谷科長嚴父

一時大正寺に

賭博檢學に

から意外やこゝに交通禍なら

十一日の兩日午

人の賭博徒を集

つても如何にも慢々的で、めはおいそれと至極調法ではあなく、さりとて庶民の交通機 の制限を附與か 馬車、人力車夫には 営業方法其他に關し馬にとへ許可されるに 外活の問題だ 沽保護の立場

から原則として賛成する豆

居候女を盗む

言ふにある

居候してゐたが同日 清秋子 (一八)

かし半分でつれ出し附近の

**碁會**, 日

新京吉野町五丁目一麻雀會、其の他御會合に御利用下さい

四し面會時間は午後一時より二時迄一、身體强健 一、年龄三十歲前後一、年龄三十歲前後一、年龄三十歲前後

水。三五三番

水

(3) ホニ五 テロハハハ

御

室

いて首都警察交通股で

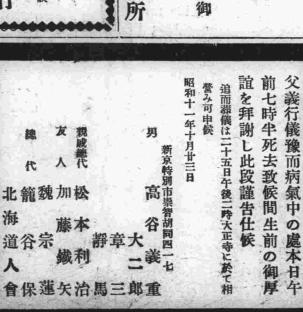
首都警察交通股談

棲生活してゐた一方娘が失踪

女

市内に確實なる保體人を要する は自筆履歴書持多本人御齢 十 六、七 歳

市内に保證人を要す履歴書持参午後五時より面談門内地人に限ると要す履歴書持参午後五時より面談 輸入百貨店事務所 京中央通





田、元新京三笠町三丁目十七原籍香川縣三豐郡和田村字和

伏して御願ひ申上げます

豊樂路七○一(モン

テカルロ並び)

何卒皆樣の御調髪所として御愛顧御引立下さいます樣

ふ樣奉仕致します

ら本月八日迄外交員として履三郎 (二三) は九月十八日か 樂町二丁目六番地増三アパー取調べの結果川上はその後を近を徘徊中川上を發見逮捕し 耽つてゐたことを自共したトに一室を借りて母夜酒色に れる中百三十圓を得意先か 日雲隠れ

京三笠町三丁目槇元重美原籍島根縣波智郡田所村、 はさる十三日まで敦化 0九四三(三) 電

多忙につき女給さん至急募集

育野町二丁目(明治製薬前人〜WMG(3)至1.21

兄

H

粗

品進呈

二十六日まで

御光來の御客様に聊かの書

見智看護婦 村 八歲一



集金横領犯

致しました技術に衛生に萬全を期し必ずや御期待に添今般左記の處に於いて近代的感じの良い理髪店を開業

3

京都府相樂郡加茂町生れ、 熱者新京へ逃る

理髮開店御披露

五日まで 町履地 < >V. C.

じの安井戦馬様が、わつしの家へ

このには、何か困ったことがある

人間には、妙な解があるもので

と、自分のかほを、平手でつるり

『ほかぢやありませんが、御存

やつておるでになって、何を傾し

でるかと思へば、お志津さんは人

つるりと無でたら、「ん殴られて

もつとも、低人のかほを平手で

まひます。

Tott the

それで、わつしは、それは既

るだらうよ

どこか、その嫌にる

SANKYO I #

それには、こたへないで、五左

ところで、五左ばは、確かに、と

んなことを繋まれなさつたか?」

に物を鎖まれなさる御にだが、ど

と、いつて、顔をつるりと無で

『左線か、お前さんは、よく人

と、 病人だとは思はれぬ間の元

とから贈まれましたものですから

果

發 東京市芝區田村町四 一元 機能天王寺三五五六番 一元 機能天王寺三五五六番

東京樂院

東京樂院

記越蝦元へ御散交あれ、原時送順す

國五十鐘、送料内師十二鐘、万一品切の節は代金を添へミナイン億、五十鐘、九十鐘、一國六十鐘、三國

いや、とんと、お脳かしい次

して、今日は、どんなご用か

に來たので、わしの病氣覚躁に來

「何だ、それでは、お志津をみ

間、わつしやあ、今日は人に頼ま

りながら

佐泉前は、たちくと夏太がになっと、一本きめつけられたので、

れてきたのでございます」

曜 及高 詰 其 級

農園から

御家庭へ

おう、佐兵衛院か、よく來て

わつしは、から

**帰馬町の油屋佐平でございます** 

と、こたへますと、五左衛門は

りだ――能がしい時にはいすこし、お願がこれから田服屋へ行つていっていやくし、性がしいのが何よ――『しかし、現に癒つた者がある

ご無沙汰ばかりしてゐまして…」

くつい、だがしいもんで

性內

病、痔疾科

アヘン。

七七

ヘロイン中毒

來

燕

郎演

太

印球地

招葉名

調だな と、とばれましたので、 妖 (株上映) 魔: 內桃 Щ

ききとれなかつたとみえまして と、こたへますと、その學がよ 『臨馬町の油屋佐平でございま は表向きで、實際は、うちにゐる さいませんと、申上げますと、何 るのできざいます・ ないことにはなってるるが、それ らないやうに隠れてゐると時しや

はありません。賊がはいった時 そこで、わつしは、そんなは

店理代總洲滿

九一通部監 市連大

番六二四三(2)話電 番五三三連大替振 (ナハ) ハ又 (ハ) 略電

待狀書刺

御

案

内

われ打直

●迅速配達●

錠劑・液劑・粉末

作用緩和 而 6奏效卓越 老幼にも安んじて應用し

> 咳嗽咯痰を停ふ凡てのい 場合、例へば肺結核、 氣管枝炎、喘息、肺炎 百日咳等に良效を認め 66.

三共株式會配

10 大連一の果物みせ

果くだもの GHUD-SEIKA 中 央 大連西通中央ビル 靑

電 (2) 3949

瀬き●出え際の不松焼●男女あるべき服に見るののでは、

は彼と云はずスグお用ひあれ

の場合其の脱液を斑止 で間が毛髪を熱気に原因する で関節毛に動しても病臓を熱酸し

日本橋通郵便局前

インの徐振に

(入院隨意)

築えは毛 え

松本醫院

野の親生を促進し、その脱密及び動脈を をすます、脚を動ま、間も、端、 なきます、脚を動ま、間も、端、 ないのではのかきものを調く 分のではのかきものを調く かないました。 ないできるが、 ないできるが、 ないできるが、 ないできる。 ないできる ● 説明書無代進呈 士創製

福話(2)一四族 路 四 Ξ

<sup>八</sup> 館

西

馬

大五

**EB** 



**≡** 0

0

(大橋の文具店にあり)





